2026年11月13日

各位

会社名　クラスターテクノロジー株式会社
代表者名　代表取締役社長　安達　良紀
（コード番号4240　東証スタンダード・名証メイン）
問合せ先　取締役管理本部長　駒井　幸三
（TEL：06-6726-2711）

2027年３月期　第２四半期（中間期）個別業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2026年８月12日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）個別業績予想と本日公表の実績に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）個別業績予想と実績との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	635	27	31	19	3.46
実績（B）	615	48	51	33	5.83
増減額（B-A）	△ 19	21	20	13	
増減率（%）	△ 3.1	80.9	65.5	68.2	
（参考）前期第２四半期（中間期）実績（2026年３月期第２四半期）	664	113	115	104	18.39

＜業績予想と実績との差異の理由＞

当事業年度第２四半期（中間期）の売上高は、ナノ／マイクロ・テクノロジー関連事業において、産業機器分野はおおむね予想どおりに推移したものの、その他の分野が予想を若干下回りました。一方、マクロ・テクノロジー関連事業は予想を上回って推移したものの、事業全体としては前回発表予想を若干下回る結果となりました。

利益面につきましては、製造原価において、外注加工費の減少に加え、新規設備投資計画の一部進捗の遅れに伴う減価償却費の減少があったことや、原材料費等がおおむね想定の範囲内で推移したことから、売上総利益率は改善いたしました。

また、販売費及び一般管理費につきましては、研究開発費等の一部費用の計上が下半期にずれ込んだこと等により、計画を下回りました。

以上の結果、営業利益は前回発表予想を上回る結果となりました。

なお、通期業績予想につきましては、関東工場増築工事の進捗状況、新規採用の状況及び各種費用の発生見込み等を総合的に勘案し、今後の業績動向を精査した上で、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

以上